

医療とコミュニケーション

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野、生物薬学講座神経科学分野、教養教育センター		
担当教員	平林 香織 教授、駒野 宏人 教授、平野 順子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

医療人にとって必要な情報伝達の数々についてさまざまなアクティブラーニングやボディワークを通じて学ぶ。あらゆるコミュニケーションのベースとなる「みること」「きくこと」の多様性について知り、障がいを持った人々との情報交換の有り方も含め医療現場で必要なコミュニケーションの種類とその心構えについて理解できるようにする。

情報を集め、それを分類・理解してしっかりと受け止め、そして、正しく発信するための基本的なことがらを学習する。論理的にわかりやすい表現で自分の考えを伝えるための技術を修得する。また、上級学年において医療面接の手法を学んでいくための準備として、コーチングという対話の仕方について理解を深める。さらに、脳の情報伝達経路と筋肉反射の関係を体感するためのエクササイズを行う。

・教育成果（アウトカム）

コミュニケーションの多様性と可能性の実態に関する講義内容を整理し、医療人にとって必要なコミュニケーションの種類とそれぞれのコミュニケーションの仕方の留意点を認識する。さまざまなコミュニケーションを実際に行うことによって、コミュニケーションの仕方の違いによる情報伝達内容の変化を認知し、わかりやすく論理的な表現を習慣化する。（ディプロマポリシー：2、4、5）

・到達目標（SBO）

1. 「みること」と「きくこと」の種類とそれぞれの違いを説明することができる。
2. 医療人にとって必要なコミュニケーションについて基本的なことがらを説明することができる。
3. 正しくわかりやすく情報を伝達することができる。
4. 論理的な日本語表現で自分の考えを述べるができる。
5. 相手の自己肯定感を上げるコミュニケーションのポイントを理解し、実践することができる。
6. 障がい者のコミュニケーションの実態について理解することができる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/13	金	1	文学分野	平林 香織 教授	見ることとコミュニケーション 1. 医療における「見ること」の意味を説明することができる。 2. 対象をよく見て「見たこと作文」を書くことができる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
4/19	木	1	文学分野	平林 香織 教授	話すことと書くことによる情報伝達 1. わかりやすく具体的に話すことができる。 2. きくことによって得られる情報を体系的に俯瞰的に捉えることができる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
4/26	木	1	文学分野	平林 香織 教授	書くことと読むこと 1.得られた情報をわかりやすく論理的にまとめることができる。 2.他者の文章を批判的に読み建設的に改善することができる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
5/10	木	1	文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子非常勤講師	コーチング1：コーチングの概要 1.コーチングとティーチングの違いを説明できる。 2.コーチングの価値と可能性を理解できる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
5/17	木	1	文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子非常勤講師	コーチング2：相手の話を聴く姿勢 1.傾聴することの重要性を理解できる。 2.傾聴の基本を実践できる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
5/24	木	1	文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子非常勤講師	コーチング3：相手を認めるメッセージ 1.相手を認めることの重要性を理解できる。 2.自己肯定感を高めるメッセージを伝えることができる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
5/31	木	1	文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子非常勤講師	コーチング4：相手の答えを引き出す質問 1.質問の種類を説明できる。

					2.答えを引き出す質問をすることができる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
6/7	木	1	文学分野 神経科学分野	平林 香織 教授 駒野 宏人 教授	脳とからだの情報伝達 1.自分のからだの声を聴くことができる。 2.脳神経と筋肉の反応の関係を体感できる。
6/14	木	1	文学分野	平林 香織 教授	発達障がいと情報伝達 1. 情報の双方向性について理解できる。 2. 発達障がいにおける情報受容のあり方について説明できる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
6/21	木	1	文学分野	平林 香織 教授	発達障がい 1. 脳の情報処理のメカニズムについて理解できる。 2. 障がい者とコミュニケーションをとるための心得を習得する。 A-4-1)-①、A-4-1)-②
6/28	木	1	文学分野	平林 香織 教授	日本語による情報伝達 1.日本語の情報伝達の特徴を説明できる。 2.日本語のわかりやすい表現方法のこつを理解できる。 A-4-1)-①
7/5	木	1	文学分野	平林 香織 教授	効率的な情報収集 1. 批判的な読解を行うことができる。 2. 収集した情報を統合し全体を俯瞰しあらたなビジョンを作り上げることができる。 A-4-1)-①
7/12	木	1	文学分野	平林 香織 教授	問題意識をもった論述 1. ヒューリスティック・マップによって思考を整理することができる。 2. ヒューリスティック・マップに基づくわかりやすい論述を行うことができる。 A-4-1)-①
7/19	木	1	文学分野	平林 香織 教授	論理的な表現 1. 論理的な文章を書くことができる。 2. 他者の文章を批判的に読解し評価することができる。 A-4-1)-①、A-4-1)-②

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	日本語表現法改訂版 21 世紀を生きる社会人のたしなみ	庄司達也・山岸郁子ほか	翰林書房	2014
参	スタディ・ナビゲーション	人間科学科・附属図書館	岩手医科大学	2018

・成績評価方法

受講態度（20%）、ミニレポート（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・特記事項・その他

ミニ・レポート及びレポートは提出後採点し、コメントを付して返却する。
事前学習として、講義内容の確認をした上で、トピックに関連する事項をインターネットや図書館で検索し、問題点を抽出しておくこと（およそ 30 分を要する）。
講義で身につけたさまざまなコミュニケーションの方法を、実生活や実習の現場で応用する。
本講義では毎回、さまざまなグループワークを取り入れたアクティブラーニングを行う。「脳とからだの対話」の回は体育館の武道場でエクササイズを行いながら学習する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC Panasonic CF-J9	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVD プレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVD プレーヤー Logitech LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	デスクトップパソコン（DELL Precision T3500 カスタマイズ）	1	講義資料の提示